

株式会社みずほ銀行

提供資料

福岡空港運営検討協議会 御中

福岡空港の民間委託について

2014年2月6日

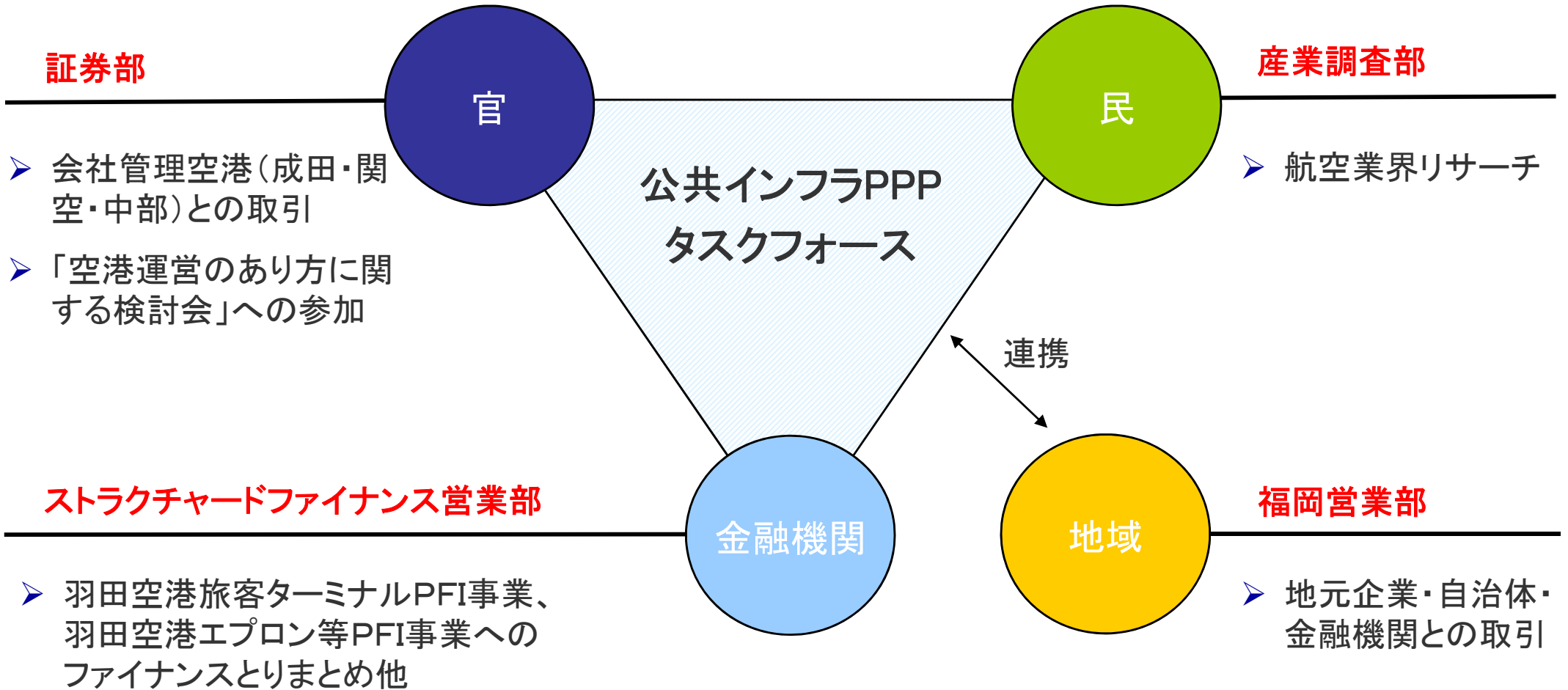
みずほ銀行

福岡営業部

ストラクチャードファイナンス営業部

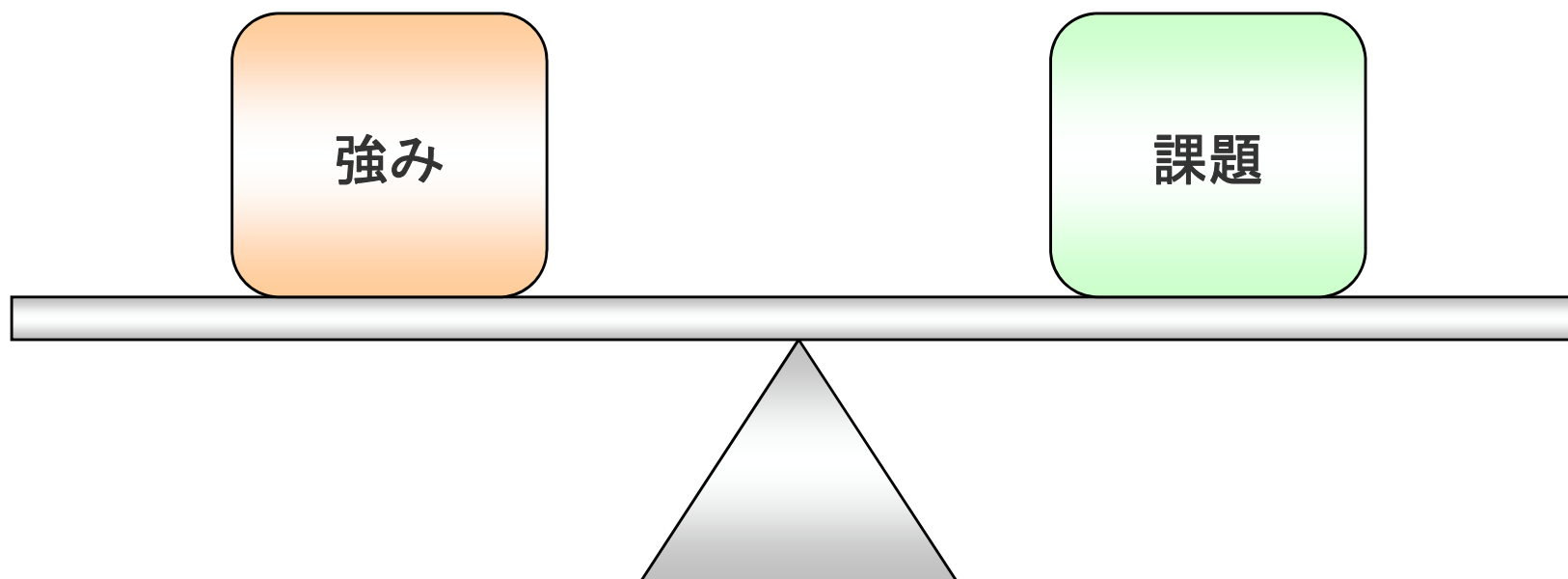
証券部

<みずほ>と空港の関わり



民間委託をどう考えるか

- 福岡空港の民間委託については、空港の強みと課題を踏まえて、地域経済の活性化、空港価値の最大化、事業の継続性・安定性等に資するのであれば望ましいと考えます。



- 地域経済の活性化
- 空港価値の最大化
- 事業の継続性・安定性 etc

■ 国内屈指の高需要空港

- 2012年年間乗降客数 1741万人 国内第4位
- 2012年年間発着回数 15.6万回 国内第3位

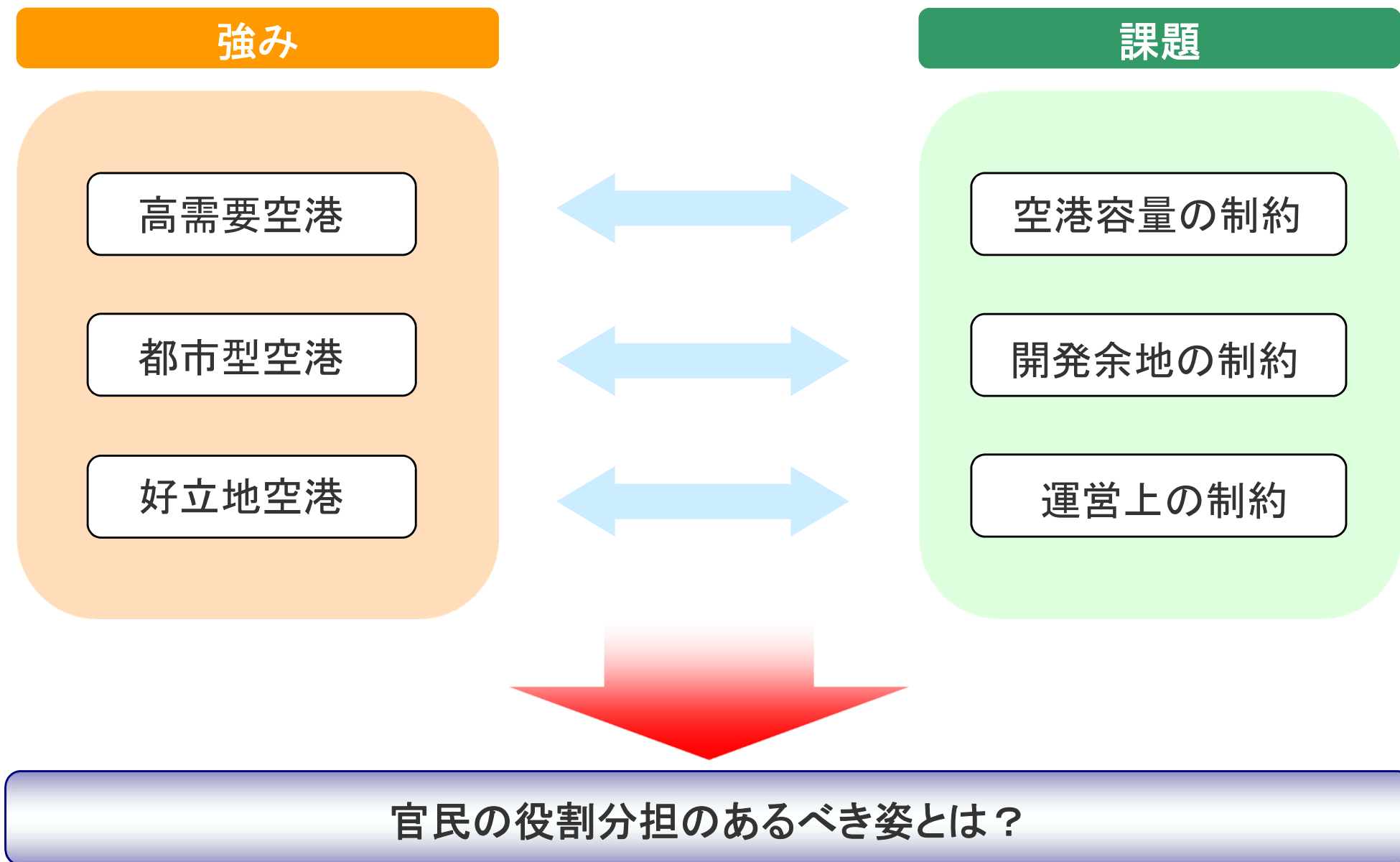
■ アクセス至便な都市型空港

- 博多駅まで地下鉄で5分
- 羽田空港15分(品川駅)、伊丹空港25分(新大阪駅)、新千歳空港36分(札幌駅)

■ アジアと近接した好立地空港

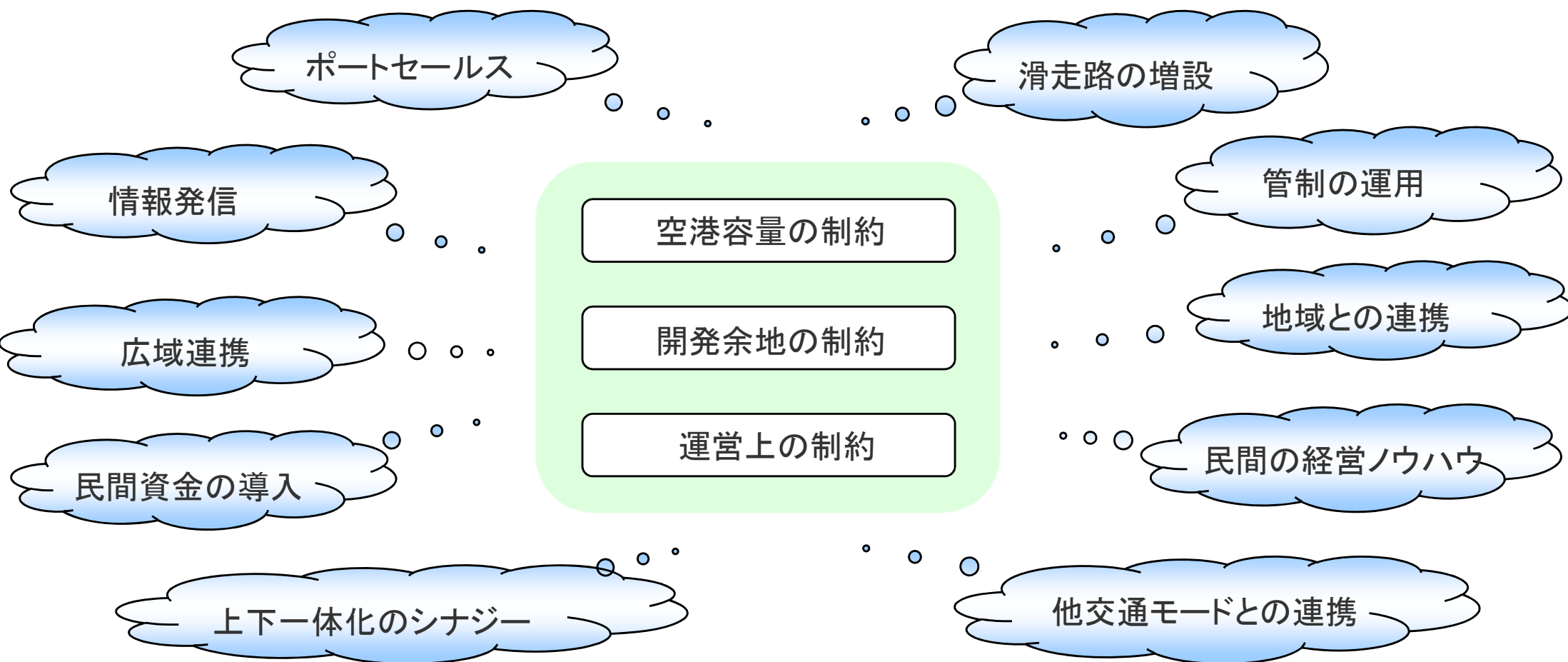
- アジアと近接した地理的優位性
- 国内線 26路線 392便/日、九州・山陽新幹線の起点

福岡空港の課題とは



官民の役割分担のあるべき姿とは

- 国・自治体・民間の間であるべき役割分担について整理する必要があります。



アジアの成長力の取り込み ⇒ 西日本のハブへ

終わりに

- 福岡空港がポテンシャルを発揮し、アジアの成長とともに西日本のハブとして大きく発展していくためには、空港の強みと課題を踏まえて、官民で適切な役割分担がなされていくことが重要と思われれます。
- したがって、福岡空港の民間委託については、適切な官民の役割分担の結果、
 - 地域経済の活性化、
 - 空港価値の最大化
 - 事業の継続性・安定性、等に資する形になるのであれば望ましいと考えます。
- なお、民間委託にあたっては、市中金融機関等からの資金調達可能性についても十分に検討する必要があると認識しています。

© 2014 株式会社みずほ銀行

本資料は金融ソリューションに関する情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の取引の勧誘・取次ぎ等を強制するものではありません。また、本資料はみずほフィナンシャルグループ各社との取引を前提とするものではありません。

本資料は、当行が信頼に足り且つ正確であると判断した情報に基づき作成されておりますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しては、貴社ご自身の判断にてなされますよう、また必要な場合は、弁護士、会計士、税理士等に御相談のうえお取扱い下さいますようお願い申し上げます。

本資料の著作権は当行に属し、本資料の一部または全部を、①複写、写真複写、あるいはその他の如何なる手段において複製すること、②弊行の書面による許可なくして再配布することを禁じます。